

令和 5(2023)年 3 月 17 日

# 私たちの望む西東京市の図書館

## 西東京市図書館協議会

私たち西東京市図書館協議会は、「私たちの望む西東京市の図書館」をまとめました。これは次期の図書館計画の策定などに対し、基本的な考え方として提案するものです。

### 1 私たちは、知り、考え、判断し、成長するための図書館を望みます

- \* 図書館は情報やものの考え方を知るための大切な公共サービス機関
- \* より深く、より本質を知るためには、内容が正確な図書、雑誌、電子情報などが不可欠
- \* 図書館サービスを通して、社会の諸課題、行政の政策について学び、判断

西東京市図書館の基本理念は、「市民のひとりひとりが自ら学び、考え、成長し、決定し、自らの責任で行動するために必要とされる知識や情報を分け隔てなく市民すべてに提供する公共サービス機関として、時代に適合した品質の高いサービス提供に積極的に取り組み、成長する図書館であり続けます」と掲げています。

私たちも、図書館を知識や情報を得るための大切な公共サービス機関と位置づけています。多くの知識や情報は、市民が考え、判断するために必要不可欠なものだからです。現在、多くのメディアが大量の情報を流して（提供して）いますが、速報性はあるものの表面的で簡略にされたものばかりです。また、信憑性にも疑義のある情報も多く含まれています。もっと深く、より本質的に知るためには、より内容が正確な図書、雑誌、電子情報などが必要です。

図書館サービスを通して、市民は、社会の諸課題、行政の政策について学び、判断することができます。私たちは職員の専門性を活かし、正確な情報、いろいろな考え方を提示してくれる図書館を望みます。

### 2 私たちは、だれでも利用できる図書館を望みます

- \* いろいろな人たちのための図書館
  - ・日本語を母語としない人たち
  - ・身体的、または学習上の不自由さをもつ人たち
  - ・国連が進める持続可能な開発目標(SDGs)に貢献

西東京市にはいろいろな人たちが生活しています。みな違った環境のなかで生まれ、育ち、暮らしています。身体的な不自由さや学習上の困難を抱える人、日本語理解が困難な人、入

院している人や外出困難な人、図書館から離れた場所で暮らす人など、図書館利用に不自由な人たちがより利用しやすい図書館を望みます。また、経済格差に苦しむ人たちの課題解決や、情報化が進む社会なかで情報格差を感じる市民への対策も図書館の大切な仕事です。

これらのことは、国連が進める持続可能な開発目標（SDGs）（すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築く）の17の目標と多くの点で一致します。私たちは、だれでもが利用できる図書館を望みます。

### 3 私たちは、一人ひとりを大切にする図書館を望みます

- \* 図書館のすべての資料・情報は、市民一人ひとりの財産
- \* 一人ひとりにその人が求める資料・情報を的確に提供
- \* 豊かなコレクションとそれに精通した専門的な職員の能力の向上

図書館は、世の中の様々な考え—歴史的、文化的、地理的、政治的—に対して広い視野に立った資料・情報を提示し、自らの考えを持とうとする市民に扉を開けてください。

図書館のすべての資料・情報は、市民一人ひとりの財産です。一人ひとりにその人が求める資料・情報を的確に提供することを望みます。そのためには、豊かなコレクションとそれに精通した専門的な職員の能力が大切です。経験と知識の積み重ねをとおして職員の能力向上を図ってください。

### 4 私たちは、創造性を育てる図書館を望みます

- \* 蓄積されたコレクションは大きな刺激
- \* 創造性を育むためには、人との出会いも大切
- \* ラーニングコモンズの考え方を導入した図書館

図書館が蓄積した資料や情報は、市民の理性や感性に刺激を与え、想像力・創造力を、そして共に生きる力を目覚めさせてくれます。新しい目覚めには、コレクションとの出会いばかりでなく人との出会いも大切です。西東京市の前身の一つ、旧田無市図書館の利用案内には、「図書館は広場 おしゃべりが生まれます 新しいことをする力がめをさします」と記されていました。西東京市の図書館でも、資料・情報を提供するというサービスに加えて、図書館を利用するだれもが集い、学び合えるラーニングコモンズ(大学図書館発祥の声出しのできる支援員のいる学修空間)や、市民がものづくりなどを行う場（メーカースペース）の設置も大切になると考えます。そうした広場となるような図書館を望みます。

### 5 私たちは、新しい世界への旅立ちを応援してくれる図書館を望みます

- \* 乳幼児から中高生世代が本に親しむ

- \* 児童書の知識を豊富に持った児童図書館員
- \* 子どもたちとの距離を近くし、一人ひとりの子どもと向かい合い、その子に合った適書
- \* 子どもの生活にも配慮したサービスを展開
- \* 子どもの居場所(サードプレイス)としての図書館

図書館は、乳幼児から中高生世代が本に親しみ、読書習慣を身につけるための場であると考えます。乳幼児向けおはなし会、児童向けおはなし会などに限らず、様々な行事を行い、子どもたちの新しい世界への旅立ちを応援してください。そこには科学、工学など理科系の分野の行事も大切です。また、図書館員は、児童書の知識を豊富に持つとともに、子どもたちとの距離を近くし、一人ひとりの子どもと向かい合い、その子に合った適書を届ける役割をもつと考えます。

今、子どもたちは、いじめ、虐待、発達障害、不登校、相対的貧困、家族の介護など、多くの課題を背負っています。それら子どもを取りまく課題解決にも図書館が果たす役割は大きいと考えます。

また、子どもたちには、家庭でも学校でもないサードプレイスとしての居場所が必要です。図書館はだれでも個人で利用できる機関であり、図書館員は子どもたちの良き相談者になることを望みます。

西東京市では「子どもど真ん中」という政策目標があります。西東京市の図書館は田無市、保谷市の時代から子どもへのサービスを大切にしてきました。子どもたちの意見を聞きながらより充実した子どもへの図書館サービスを望みます。

西東京市では、以前から子ども文庫活動、子どもの本の勉強会、おはなしサークルなどの市民による活動が盛んです。それらの市民団体とも手をつなぎ、子どもの読書がより豊かなものになるように願っています。

## 6 私たちは、市民や地域の課題解決につながる図書館サービスの充実を望みます

- \* 課題解決のための資料・情報提供
- \* 課題解決のための事業

西東京市の図書館では、法律情報やビジネス支援、高齢者支援、若者支援、健康・医療、多文化などのコーナーを設置しています。それらの資料・情報は地域課題の解決に貢献しています。コーナーの設置にとどまらず、課題解決のための講演会、相談会などの事業も広げてください。今後、西東京市ではさらにいろいろな課題が提示されることでしょう。新たな課題に対しても図書館は市民個人だけでなく、団体、企業、行政機関などの要望を把握した上でサービスを展開してください。

## 7 私たちは、多様なコミュニティを支援する図書館を望みます

- \* 民族、国籍、言語の違いなど多様な人たちや、LGBTQ の人たちの集まりへのサービス

西東京市には民族、国籍、言語の違う人たちや、LGBTQ の人たちなど、多様な人々が共に生活しています。一人ひとりに対して、また、そのコミュニティに対して、資料提供を通じたサービスや集いの場の確保などを望みます。このような多様性を包摂することができるのは図書館であると考えます。また、その活動を進める上では、他の市民団体や関係機関との連携・協力も積極的に行ってください。

## 8 私たちは、あらゆる世代のニーズに沿った図書館を望みます

- \* 図書館は家族一人ひとりでも楽しめる場であり、団らんの場
- \* 学校の宿題や自由研究へのサポート
- \* 自由に気軽に利用できる学習スペース
- \* 高齢者が居心地よい空間を

図書館は乳幼児から高齢者までがともに利用できる公共施設です。家族で来館し、それぞれがお気に入りの棚に向かう姿も見られます。図書館は家族の一人ひとりでも楽しめる場であり、団らんの場でもあります。子どもの学校の宿題や長期休みの自由研究のヒントがほしい人には図書館は頼りになります。様々な事情で家庭内に学習の場がない子どもたちには図書館は安全で安心な学習スペースとなります。

図書館は高齢者にとっても、ある時は新しい知識を求めるために、ある時はゆっくりと読書の時間を楽しむために大切な施設です。大活字本などの高齢者でも読みやすい資料や、机や椅子、そして高齢者に優しい空間が必要です。図書館は、こうしたあらゆる世代のニーズに寄り添い支援してください。家族が楽しむ場と静かな読書や学習・研究に取り組む場は、お互いが干渉し合わないようなゾーニングが必要です。あらゆる世代が一緒に居ることができる優しい図書館が望まれます。

## 9 私たちは、市民の情報活用能力の向上に貢献することを望みます

- \* 最新の情報機器の整備
- \* 市民の情報活用能力の向上
- \* 図書館の上手な利用方法

今、ICT（情報通信技術）が急速に進んでいます。図書館は ICT を活用するために最新の情報機器を整備し、広く市民が利用できる態勢を確保することが望まれています。

それとともに、大切なのは市民の情報活用能力（情報リテラシー）、デジタルシチズンシップを高めることです。そのためには、講座の開催や、日常のレファレンスなどの場でも図

書館で契約しているオンラインデータベースの紹介や利用方法、国立国会図書館デジタルコレクションなど様々な機関が作成したデジタルアーカイブの紹介などを行ってください。

## 10 私たちは、図書館が心の安らぎの場であることを望みます

\*一人で本と対話しながら深い考えに導き入れる雰囲気をもつ図書館

個人でだれもが利用できる図書館は、一人で本と対話しながら深い考えに導き入れる雰囲気をもつ場であってほしいと考えます。ここでは、静けさと、窓から見える景観が大切になります。そのようなスペースがある図書館を望みます。公的な場で心の安らぎが得られることは市民にとっても大切な居場所となり、魅力ある街のポイントとなるでしょう。

また、現在、様々なストレスから多くの人がメンタルヘルス上の問題を抱えるようになっていきます。図書館はそれらを癒し、安らぎを与える場であって欲しいと思います。

## 11 私たちは、平和で安全な街を考える資料の充実した図書館を望みます

\*正確な資料・情報提供

\*多様な考え方の提示

\*コーナーの充実

私たちの街西東京市は、昭和 19（1944）年から数回にわたる空襲を受けてきました。なかでも昭和 20（1945）年 4 月 12 日の空襲では、100 人以上の犠牲者を出しました。市では 4 月 12 日を「西東京市平和の日」と定めています。平和で安全な街を考えるためには、広く、国内外の情勢にも目を向けなければなりません。図書館は正確な資料・情報を提供することに努めるとともに、多様な考え方があることを知らせることが大切であると思います。

旧田無市図書館の時代には、前記の事実を後世に伝えるために市民の協力のもと「戦争を伝える」事業（田無市公民館共催）を展開した歴史があります。一方旧保谷市図書館では「原爆小文庫」を開設し、関連資料の収集・保存・公開に努めてきました。現在はひばりが丘図書館に引き継がれています。

これらの活動を受け、「原爆小文庫」を核として発展的に「平和で安全な街」を考えるコーナーに拡張することも大切な視点だと思います。

## 12 私たちは、過去を保存し未来に伝える図書館を望みます

\*市の歴史、文化を後世に伝えていくことは、地域の図書館の最も重要な責務

\*文字情報だけでなく、画像、映像、音声など多様な種類で保存することが大切

\*市民や郷土資料室、公文書管理部門との連携・協力を進め、デジタルアーカイブを構築

\*地域に関わる専門家が発信する場の構築

市の歴史、文化を後世に伝えていくことは、地域の図書館の最も重要な責務です。過去の歴史・文化は、未来を考えるために最も大切な資料となります。紙媒体、デジタル媒体などそれぞれの長所を活かすこと、文字情報だけでなく、画像、映像、音声など多様な種類で保存することが大切です。資料の発掘や再編集を含めて、地域資料の充実を望みます。また、郷土資料室、公文書管理部門との連携・協力を進め、デジタルアーカイブを構築することが今後、求められてくると思います。加えて、西東京市の地域に関わる専門家が発信する場の構築も期待されています。

### 13 私たちは、市民のために主体性を持った図書館運営を望みます

＊市民参加と市民参画による運営

＊図書館の役割の大切さ

図書館運営は市民との相互関係で作り上げるものだと私たちは考えています。現在、市民は、子どもの読書の推進や宅配、ハンディキャップサービスなど地域の読書環境の充実に積極的に参加しています。また、市民は計画策定などにも参画しています。私たちはこのことを大変評価しています。是非とも市民参加と市民参画を継続し、より発展されることを望みます。

図書館は、図書館の権限のなかで主体的に資料を収集すること、そして収集した資料を市民に提供すること、私たちの利用記録を外部に漏らさないことや、資料の収集・提供などで外部からの圧力があつた時は、公益社団法人日本図書館協会の「図書館の自由に関する宣言」を参考に図書館の役割を説明してください。

私たち西東京市図書館協議会は、これからの図書館に大きな期待を持っています。その期待を「私たちの望む西東京市の図書館」としてまとめました。私たちは令和4年度の第2回臨時会から5回にわたる議論とメールでの意見交換を続けてまいりました。これからの西東京市の図書館をイメージするために、私たちは、アメリカ図書館協会が作成した「アメリカ社会に役立つ図書館の十二か条」の日本語訳『図書館のめざすもの 新版』（日本図書館協会 2014年）を参考とし、私たちが図書館をどう考えるかとの視点で議論を続けました。また、「ユネスコ公共図書館宣言 2022」も参考にさせて頂きました。

具体的というよりは、図書館のあるべき方向を示すことが目的でした。「私たちの望む西東京市の図書館」が十全に機能するためには、図書館ネットワークの構築が不可欠です。特に中央図書館構想に私たちは大きな期待を持っています。この考え方を多くの市民の方々と共有し、次期の図書館計画や市の各種行政計画を策定するときの参考にして頂けるようお願いいたします。

西東京市図書館協議会委員

区 分	氏 名	備 考
学校教育の関係者	野崎 信行	保谷小学校長
	東山 信彦	田無第三中学校長
社会教育の関係者	緒方 朋佳	市民公募
	柴田 一哉	市民公募
	長谷川 幸男	わかば文庫主宰
	山辺 真理子	NPO 法人西東京市多文化共生センター (NIMIC)
家庭教育の関係者	鈴木 綾	民生委員・児童委員（主任児童委員）
学識経験のある者	福士 輝美	武蔵野大学特任教授
	上田 直人	東洋大学非常勤講師 二松学舎大学非常勤講師
	島 弘	元福生市立図書館長 日本大学非常勤講師